開催予告

京大建築学教室100周年記念シンポジウム

歴史の中の京大建築・社会の中の京大建築～世代を繋ぐリレートーク

日時：2021年8月28日(土) 13:30～16:00 (予定)

場所：百周年時計台記念館 百周年記念ホール

趣旨：

建築学教室は、2020年8月18日で創立から100年を迎えました。これを記念して、本シンポジウムでは、世代と分野が異なるパネリストをお招きし、これまでの歴史を顧みながら、建築学教室および京大建築会の役割を語っていただき、将来の更なる発展を考える機会といたします。

パネリスト (敬称略)

西川幸治	京都大学名誉教授 (昭和 29 年卒)
竹脇出	京都大学教授 (昭和 55 年卒)
永田久子	東畑建築事務所 (昭和 63 年卒)
吉田純	京都市都市計画局 (平成 7 年卒)
大西麻貴	大西麻貴+百田有希/o+h (平成 18 年卒)

司会

聲高裕治	京都大学教授
------	--------

開催予告：国際ワークショップ：海外ネットワークのプラットフォーム

日時：2021年8月28日(土) 10:30～12:00

場所：百周年時計台記念館 百周年記念ホール

趣旨

元留学生などの海外在住の京大建築会会員とは、建築会本部との連絡や、情報交換などがこれまであまり活発ではありませんでした。しかし、近年の留学生の増加や、国境を越えた教育・研究活動の増加、建設業のグローバル化を考えると、京大建築会もグローバル化が欠かせません。

このワークショップでは、京大建築学科または建築系専攻を卒業・修了された元留学生の会員有志をお招きし、京大卒業後の教育・研究もしくは実務活動の近況をお話し頂き、海外在住の卒業生との連携方法を考えます。

パネリスト（敬称略）：

李 永輝（中国、東南大学、平成22年博士課程修了）

クリンマライ シワポーン（タイ、タマサート大学、平成26年博士課程修了）

サチ ホシカワ（NY在住、平成9年修士課程修了）

ラウファード マーディ（東京在住、平成30年博士課程修了）

コーディネータ：

銚井修一 名誉教授

司会：

神吉紀世子 教授

Notice of International Workshop: Overseas network platform

Date: August 28th, 2021 (Saturday), 10:30am – 12:00am (Japan Standard Time)

Venue: Kyoto University Clock Tower Centennial Hall

<https://www.kyoto-u.ac.jp/en/about/profile/facilities/staff/clocktower/clock-tower-centennial-hall.html>

Purpose of Workshop:

In this workshop, we invite our former students who have graduated our School of Architecture as the panelists, and will share about the current activities of education, research and practical activities after graduating. Finally, we will discuss how we can develop the overseas network more among us.

We and our alumni association have not been very active in contacting among overseas members so far. However, considering the increase in the number of international students and activities in recent years, the increase in cross-border

education and research activities, and the globalization of the architectural world, it is essential to have a good platform for the overseas network.

Panelists (titles omitted)

- Li Yonghui (Southeast University, China, Graduated from Doctoral course in 2010)
- Klinmalai Siwaporn (Thammasat University, Thailand, Graduated from Doctoral course in 2014)
- Sachi Hoshikawa (Miliú-Real Estate Studio New York, USA, Graduated from master course in 1997)
- Mohammad, Mahdi Raouffard (Taisei Kensetsu Tokyo, Graduated from Doctoral course in 2018)

Coordinator:

Emeritus Prof. Shuichi HOKOI

Moderator:

Prof. Kiyoko KANKI

百周年記念出版のお知らせ

タイトル：(仮)京大建築学と千年の時空

刊行予定：令和2年度中

京都大学工学部建築学教室が本年2020年に創立100周年を迎えたことを記念し、京大建築学が取り組んできた研究・教育・実践の独創性と社会性を論じる書籍を出版します。国際・国内の人材ネットワークを基盤にした、次の100年にむけたさらなる共同展開、大学生・高校生への動機づけ、社会に対する魅力の広報をねらいとしており、記念事業（シンポジウム・国際ワークショップ・記念設計競技等）とあわせて、京大建築学の特徴が、一般に「建築学」がイメージする狭義のものづくりを越えた広い射程を持ち、時代を超えて万人の生きる環境を創り出す営みのうちにある普遍性を科学的に探究してきたところにあることを、紹介します。

（以下、総長裁量経費申請書より抜粋）

本書は、次の3部から構成し、建築学専攻および関連3部局の教員、および、京大建築会（建築学教室の同窓会組織）の会員により執筆分担します。専門の近い大学院生にも協力をもとめて図表等の資料性にも富む内容とします。

第1部 創成 建築学科創設時の初代教授武田五一をはじめ、学科創成期から昭和中後期に大きく足跡を残した先達の研究・作品・個性ある業績から、基礎科学・市民と生活文化・歴史都市・社会の多様性と京大建築学の関係を紐解き、建築の普遍性を求める、千年の時空へと向かう学の創成を紹介します。

第2部 大系 京大工学部建築学科は建築学のほぼ全ての分野を網羅する数少ない大学の1つで、100年の間、その総合的包括的な構成を保持しています。その結果、各研究は建築学の様々な特徴から複合的に影響をうけ、さらには京大の内外の学術との影響をうけて、幾世代を経て現在の教育研究の体制に繋がっています。この影響の系譜が、次の100年にむけた建築学の諸分野構想を形作っています。現在各研究室を担任している教授陣が、教育・研究に関わる影響の系譜と今後に向けた建築学諸分野の展開について紹介します。

第3部 資料 建築学教室100年の歩みを、関連する資料とともに紹介します。100年後の200周年にむけて客観的にデータをとりまとめます。

開催予告：百周年記念コンペ

百周年記念事業の一環として、記念コンペを計画しています。下記がその趣旨です。応募方法等の詳細は後日あらためてお知らせします。

「これからの街の遺伝子（仮）」

人々が息づく街は、長い時間をかけて形成される、時間の産物です。個々の建築は、それぞれがつくられた時代を反映しながら、街という大きな織物を形成します。しかし建築は、単に街の要素だけでない役割も果たします。ある建築が、単体にとどまらない、新しい遺伝子のようなものを持っていれば、それはその後に別の建築へと引き継がれ、拡がり、長い時間をかけて街そのもののありようを変えていくでしょう。100年後の街の姿を正確に予測することはできませんが、100年後の街を豊かにするような、遺伝子を残していくことは可能です。

新しい遺伝子は、これまでその街をつくってきた遺伝子が、ほんの少し変わっただけのものかもしれませんし、これまで全くなかった根本的に新しいものかもしれません。それはまた、特定の街のありようを豊かにする遺伝子かもしれませんし、どの街にも普遍的に拡がっていけるような遺伝子かもしれません。このコンペでは、アイデア部門と実作部門の二つの部門において、そのような、これからの街をつくる元になる考え方を含んだ建築案を募ります。敷地や規模、機能は問いません。あなたの設計した建築が、どのような側面において、これからの街にポジティブに引き継がれる特性を持っているのか、プレゼンテーションしてください。京大建築100周年を彩る、自由な提案を期待しています。